

生物科学専攻後期

共通科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02AU001	先端生物科学特別セミナー	1	1.0	1 - 3					生物学研究の面白さを実感できるように、毎回各分野におけるホットな研究内容を取りあげて、生物学研究の現状と将来展望についての理解力を養う。	2022年度開講せず。
02AU003	先端バイオ技術実習	6	2.0	1 - 3					透過型電子顕微鏡, 走査型電子顕微鏡と共焦点顕微鏡の試料作成と観察を行い、操作方法の習熟を目指す。先端的な応用方法に関する講義も合わせて行う。	2022年度開講せず。

専門科目 (平成27年度以降)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02AU221	系統分類・進化学セミナーCI	2	1.5	1					分子系統解析、個体発生解析、細胞機能・構造解析、オミクス解析、分子機能解析、形態比較、行動解析などに基づき、生物の進化・多様性や生物分類を論じた論文をプレゼン形式等で紹介し、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU222	系統分類・進化学セミナーCII	2	1.5	1					分子系統解析、個体発生解析、細胞機能・構造解析、オミクス解析、分子機能解析、形態比較、行動解析などに基づき、生物の進化・多様性や生物分類を論じた論文をプレゼン形式等で紹介し、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU223	系統分類・進化学セミナーDI	2	1.5	2					分子系統解析、個体発生解析、細胞機能・構造解析、オミクス解析、分子機能解析、形態比較、行動解析などに基づき、生物の進化・多様性や生物分類を論じた論文をプレゼン形式等で紹介し、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU224	系統分類・進化学セミナーDII	2	1.5	2					分子系統解析、個体発生解析、細胞機能・構造解析、オミクス解析、分子機能解析、形態比較、行動解析などに基づき、生物の進化・多様性や生物分類を論じた論文をプレゼン形式等で紹介し、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU225	系統分類・進化学セミナーEI	2	1.5	3					分子系統解析、個体発生解析、細胞機能・構造解析、オミクス解析、分子機能解析、形態比較、行動解析などに基づき、生物の進化・多様性や生物分類を論じた論文をプレゼン形式等で紹介し、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU226	系統分類・進化学セミナーEII	2	1.5	3	秋ABC	応談		石田 健一郎, 本多 正尚, 和田 洋, 庄子 晶子, 出川 洋介, 中野 裕昭, 中山 剛, 八畑 謙介, 守野 孔明, 白鳥 峻志	分子系統解析、個体発生解析、細胞機能・構造解析、オミクス解析、分子機能解析、形態比較、行動解析などに基づき、生物の進化・多様性や生物分類を論じた論文をプレゼン形式等で紹介し、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU227	系統分類・進化学講究I	7	1.5	3					分子系統解析、個体発生解析、細胞機能・構造解析、オミクス解析、分子機能解析、形態比較、行動解析など系統分類・進化学に関する実験方法、得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験・観察結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度な研究能力を修得させる。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。対面
02AU228	系統分類・進化学講究II	7	1.5	3					分子系統解析、個体発生解析、細胞機能・構造解析、オミクス解析、分子機能解析、形態比較、行動解析など系統分類・進化学に関する実験方法、得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験・観察結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度な研究能力を修得させる。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。対面
02AU231	生態学セミナーCI	2	1.5	1					実験生態学や野外生態学、理論生態学の手法に基づき、行動生態、個体群生態、群集生態、生態系などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験、観察手法、および実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)

02AU232	生態学セミナーCII	2	1.5	1				実験生態学や野外生態学、理論生態学の手法に基づき、行動生態、個体群生態、群集生態、生態系などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験、観察手法、および実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU233	生態学セミナーDI	2	1.5	2				実験生態学や野外生態学、理論生態学の手法に基づき、行動生態、個体群生態、群集生態、生態系などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験、観察手法、および実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU234	生態学セミナーDII	2	1.5	2				実験生態学や野外生態学、理論生態学の手法に基づき、行動生態、個体群生態、群集生態、生態系などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験、観察手法、および実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU235	生態学セミナーEI	2	1.5	3	春ABC	応談		徳永 幸彦, 田中 健太, 津田 吉晃, 廣田 充, 大橋 一晴, 佐藤 幸恵, 和田 茂樹, アゴスティアーニ シルバン レオナー ジョージ, Harvey Benjamin Paul, ポルジオ ルチア	平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU236	生態学セミナーEII	2	1.5	3	秋ABC	応談		徳永 幸彦, 田中 健太, 津田 吉晃, 廣田 充, 大橋 一晴, 佐藤 幸恵, 和田 茂樹, アゴスティアーニ シルバン レオナー ジョージ, Harvey Benjamin Paul, ポルジオ ルチア	平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU237	生態学講究I	7	1.5	3	春ABC	応談		徳永 幸彦, 田中 健太, 津田 吉晃, 廣田 充, 大橋 一晴, 佐藤 幸恵, アゴスティアーニ シルバン レオナー ジョージ	平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。対面
02AU238	生態学講究II	7	1.5	3	秋ABC	応談		徳永 幸彦, 田中 健太, 津田 吉晃, 廣田 充, 大橋 一晴, 佐藤 幸恵, アゴスティアーニ シルバン レオナー ジョージ	平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。対面
02AU241	植物発生・生理学セミナーCI	2	1.5	1				植物発生・生理学に関わる論文を読み、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。発表者以外の受講生は提示された情報から、疑問点、問題点等を見出し、発表者に向けて質問を行う事により、発表者との議論を深めながら、新規な実験手法・解析手法について理解する。発表および議論は可能な限り英語で行う。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU242	植物発生・生理学セミナーCII	2	1.5	1				植物発生・生理学に関わる論文を読み、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。発表者以外の受講生は提示された情報から、疑問点、問題点等を見出し、発表者に向けて質問を行う事により、発表者との議論を深めながら、新規な実験手法・解析手法について理解する。発表および議論は可能な限り英語で行う。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)

02AU243	植物発生・生理学セミナーDI	2	1.5	2					植物発生・生理学に関わる論文を読み、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。発表者以外の受講生は提示された情報から、疑問点、問題点等を見出し、発表者に向けて質問を行う事により、発表者との議論を深めながら、新規な実験手法・解析手法について理解する。発表および議論は可能な限り英語で行う。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU244	植物発生・生理学セミナーDI1	2	1.5	2					植物発生・生理学に関わる論文を読み、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。発表者以外の受講生は提示された情報から、疑問点、問題点等を見出し、発表者に向けて質問を行う事により、発表者との議論を深めながら、新規な実験手法・解析手法について理解する。発表および議論は可能な限り英語で行う。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU245	植物発生・生理学セミナーEI	2	1.5	3					植物発生・生理学に関わる論文を読み、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。発表者以外の受講生は提示された情報から、疑問点、問題点等を見出し、発表者に向けて質問を行う事により、発表者との議論を深めながら、新規な実験手法・解析手法について理解する。発表および議論は英語で行う。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU246	植物発生・生理学セミナーEI1	2	1.5	3					植物発生・生理学に関わる論文を読み、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。発表者以外の受講生は提示された情報から、疑問点、問題点等を見出し、発表者に向けて質問を行う事により、発表者との議論を深めながら、新規な実験手法・解析手法について理解する。発表および議論は英語で行う。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU247	植物発生・生理学講究I	7	1.5	3					遺伝学的解析、生理学・生化学・分子生物学的解析、オミクス解析などに関する実験方法、得られたデータを統計的に解析する方法を教授する。また、実際の実験・観察結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。現象の記述にとどまらず、物事の原理本質についていかにすれば解明に至るかを身につける。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。対面
02AU248	植物発生・生理学講究II	7	1.5	3					遺伝学的解析、生理学・生化学・分子生物学的解析、オミクス解析などに関する実験方法、得られたデータを統計的に解析する方法を教授する。また、実際の実験・観察結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。現象の記述にとどまらず、物事の原理本質についていかにすれば解明に至るかを身につける。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。対面
02AU251	動物発生・生理学セミナーCI	2	1.5	1					分子レベル、細胞レベル、および個体レベルの観点から動物の発生現象あるいは生理現象を論じた論文を読み、論文中に記載されている実験の手法と実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、結果の新規性と今後に残された問題点、そして将来の研究の方向性を議論する。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU252	動物発生・生理学セミナーCI1	2	1.5	1					分子レベル、細胞レベル、および個体レベルの観点から動物の発生現象あるいは生理現象を論じた論文を読み、論文中に記載されている実験の手法と実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、結果の新規性と今後に残された問題点、そして将来の研究の方向性を議論する。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU253	動物発生・生理学セミナーDI	2	1.5	2					分子レベル、細胞レベル、および個体レベルの観点から動物の発生現象あるいは生理現象を論じた論文を読み、論文中に記載されている実験の手法と実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、結果の新規性と今後に残された問題点、そして将来の研究の方向性を議論する。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU254	動物発生・生理学セミナーDI1	2	1.5	2					分子レベル、細胞レベル、および個体レベルの観点から動物の発生現象あるいは生理現象を論じた論文を読み、論文中に記載されている実験の手法と実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、結果の新規性と今後に残された問題点、そして将来の研究の方向性を議論する。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU255	動物発生・生理学セミナーEI	2	1.5	3					分子レベル、細胞レベル、および個体レベルの観点から動物の発生現象あるいは生理現象を論じた論文を読み、論文中に記載されている実験の手法と実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、結果の新規性と今後に残された問題点、そして将来の研究の方向性を議論する。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)

02AU256	動物発生・生理学セミナーEII	2	1.5	3					分子レベル、細胞レベル、および個体レベルの観点から動物の発生現象あるいは生理現象を論じた論文を読み、論文中に記載されている実験の手法と実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、結果の新規性と今後に残された問題点、そして将来の研究の方向性を議論する。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU257	動物発生・生理学講義I	7	1.5	3					分子生物学的研究、遺伝学的研究、生化学的研究、生理学的研究、各種オミクス研究を実施するための実験手法、またこれらの手法を通じて得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験と観察の結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。対面
02AU258	動物発生・生理学講義II	7	1.5	3					分子生物学的研究、遺伝学的研究、生化学的研究、生理学的研究、各種オミクス研究を実施するための実験手法、またこれらの手法を通じて得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験と観察の結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。対面
02AU261	分子細胞生物学セミナーCI	2	1.5	1					分子生物学及び細胞生物学に関する最新の学術論文を読み、論文中に記載されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点の討論を行う。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU262	分子細胞生物学セミナーCII	2	1.5	1					分子生物学及び細胞生物学に関する最新の学術論文を読み、論文中に記載されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点の討論を行う。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU263	分子細胞生物学セミナーDI	2	1.5	2					分子生物学及び細胞生物学に関する最新の学術論文を読み、論文中に記載されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点の討論を行う。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU264	分子細胞生物学セミナーDII	2	1.5	2					分子生物学及び細胞生物学に関する最新の学術論文を読み、論文中に記載されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点の討論を行う。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU265	分子細胞生物学セミナーEI	2	1.5	3					分子生物学及び細胞生物学に関する最新の学術論文を読み、論文中に記載されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点の討論を行う。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU266	分子細胞生物学セミナーEII	2	1.5	3					分子生物学及び細胞生物学に関する最新の学術論文を読み、論文中に記載されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点の討論を行う。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU267	分子細胞生物学講義I	7	1.5	3					分子生物学的・細胞生物学的解析などに関する実験方法、得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験・観察結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。対面
02AU268	分子細胞生物学講義II	7	1.5	3					分子生物学的・細胞生物学的解析などに関する実験方法、得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験・観察結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。対面
02AU271	ゲノム情報学セミナーCI	2	1.5	1					遺伝学的解析やオミクス解析に基づき細胞構造、分子機能、進化多様性などを論じた論文を読み、論文中に記載されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU272	ゲノム情報学セミナーCII	2	1.5	1					遺伝学的解析やオミクス解析に基づき細胞構造、分子機能、進化多様性などを論じた論文を読み、論文中に記載されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU273	ゲノム情報学セミナーDI	2	1.5	2					遺伝学的解析やオミクス解析に基づき細胞構造、分子機能、進化多様性などを論じた論文を読み、論文中に記載されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)

02AU274	ゲノム情報学セミナーDII	2	1.5	2					遺伝学的解析やオミクス解析に基づき細胞構造、分子機能、進化多様性などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU275	ゲノム情報学セミナーEI	2	1.5	3	春ABC	応談		中田 和人, 橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑山 秀一, 澤村 京一, 伊藤 希, 原田 隆平	遺伝学的解析やオミクス解析に基づき細胞構造、分子機能、進化多様性などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU276	ゲノム情報学セミナーEII	2	1.5	3	秋ABC	応談		中田 和人, 橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑山 秀一, 澤村 京一, 伊藤 希, 原田 隆平	遺伝学的解析やオミクス解析に基づき細胞構造、分子機能、進化多様性などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。オンライン(同時双方向型)
02AU277	ゲノム情報学講究I	7	1.5	3					遺伝学的解析、生化学・分子生物学的解析、オミクス解析などに関する実験方法、得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験・観察結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。対面
02AU278	ゲノム情報学講究II	7	1.5	3					遺伝学的解析、生化学・分子生物学的解析、オミクス解析などに関する実験方法、得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験・観察結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。対面
02AU287	先端細胞生物学講究I	7	1.5	3	春ABC	応談		永宗 喜三郎, 大西 真, 設楽 浩志, 松井 久典	分子生物学的研究、遺伝学的研究、生化学的研究、生理学的研究、各種オミクス研究を実施するための実験手法、またこれらの手法を通じて得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験と観察の結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。	平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能。対面
02AU288	先端細胞生物学講究II	7	1.5	3	秋ABC	応談		永宗 喜三郎, 大西 真, 設楽 浩志, 松井 久典	分子生物学的研究、遺伝学的研究、生化学的研究、生理学的研究、各種オミクス研究を実施するための実験手法、またこれらの手法を通じて得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験と観察の結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。	平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能。対面
02AU297	先端分子生物学講究I	7	1.5	3					分子生物学的研究、遺伝学的研究、生化学的研究、生理学的研究、各種オミクス研究を実施するための実験手法、またこれらの手法を通じて得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験と観察の結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。	2022年度開講せず。 平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能。対面
02AU298	先端分子生物学講究II	7	1.5	3	秋ABC	応談		藤原 すみれ, 正木 隆, 田島 木綿子, 守屋 繁春	分子生物学的研究、遺伝学的研究、生化学的研究、生理学的研究、各種オミクス研究を実施するための実験手法、またこれらの手法を通じて得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験と観察の結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。	平成27年度以降の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業。連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能。対面

専門科目(平成26年度以前)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02AU201	細胞生物学セミナーCI	2	1.0	1					細胞生物学の観点から、研究課題に関連する論文を講読させ、実験の方法や考え方の有用性と限界、新しい方法や視点の開発などにつき、具体的な研究例を取り上げて討論する。	2022年度開講せず。 平成26年度以前の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業
02AU202	細胞生物学セミナーCII	2	1.0	1					細胞生物学の観点から、研究課題に関連する論文を講読させ、実験の方法や考え方の有用性と限界、新しい方法や視点の開発などにつき、具体的な研究例を取り上げて討論する。	2022年度開講せず。 平成26年度以前の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業
02AU203	細胞生物学セミナーCIII	2	1.0	1					細胞生物学の観点から、研究課題に関連する論文を講読させ、実験の方法や考え方の有用性と限界、新しい方法や視点の開発などにつき、具体的な研究例を取り上げて討論する。	2022年度開講せず。 平成26年度以前の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業
02AU204	細胞生物学セミナーDI	2	1.0	2					細胞生物学の観点から、研究課題に関連する論文を講読させ、実験の方法や考え方、得られたデータの解析と解釈、国内外の類似の研究との比較検討などにつき、実際の例に基づいて討論する。	2022年度開講せず。 平成26年度以前の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業
02AU205	細胞生物学セミナーDII	2	1.0	2					細胞生物学の観点から、研究課題に関連する論文を講読させ、実験の方法や考え方、得られたデータの解析と解釈、国内外の類似の研究との比較検討などにつき、実際の例に基づいて討論する。	2022年度開講せず。 平成26年度以前の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業

02AU206	細胞生物科学セミナーDIII	2	1.0	2				細胞生物科学の観点から、研究課題に関連する論文を購読させ、実験の方法や考え方、得られたデータの解析と解釈、国内外の類似の研究との比較検討などにつき、実際の例に基づいて討論する。	2022年度開講せず。 平成26年度以前の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業
02AU207	細胞生物科学セミナーE1	2	1.0	3				細胞生物科学の観点から、研究課題に関連するより広い領域の論文を購読させ、自身の研究課題について体系化し、学位論文のまとめ方について方針が立てられるよう指導する。	2022年度開講せず。 平成26年度以前の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業
02AU208	細胞生物科学セミナーE11	2	1.0	3				細胞生物科学の観点から、研究課題に関連するより広い領域の論文を購読させ、自身の研究課題について体系化し、学位論文のまとめ方について方針が立てられるよう指導する。	2022年度開講せず。 平成26年度以前の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業
02AU209	細胞生物科学セミナーE111	2	1.0	3				細胞生物科学の観点から、研究課題に関連するより広い領域の論文を購読させ、自身の研究課題について体系化し、学位論文のまとめ方について方針が立てられるよう指導する。	2022年度開講せず。 平成26年度以前の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業
02AU210	細胞生物科学講究I	7	1.0	1 - 3				細胞生物科学に関する研究結果のまとめ方、研究論文・学位論文の作成方法を、個々の事例ごとに具体的に解析し、指導する。	2022年度開講せず。 平成26年度以前の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業
02AU211	細胞生物科学講究II	7	1.0	1 - 3				細胞生物科学に関する研究結果のまとめ方、研究論文・学位論文の作成方法を、個々の事例ごとに具体的に解析し、指導する。	2022年度開講せず。 平成26年度以前の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業
02AU212	細胞生物科学講究III	7	1.0	1 - 3				細胞生物科学に関する研究結果のまとめ方、研究論文・学位論文の作成方法を、個々の事例ごとに具体的に解析し、指導する。	2022年度開講せず。 平成26年度以前の入学者のみ履修可。要望があれば英語で授業